

旅に出よう！ スマイルパック（実践報告）

作成：下辻孝美

1. 対象

中学1年生

2. 時間

45分

3. 目的

- ・「幸せ」「happy」の感じ方は人によって異なることに気づく。
- ・「旅」に決まった答えはない」を大切に、一人一人が感じたことを大切にし、自分の考えを深める。

4. 授業の流れ

時間	流れ	準備するもの
5分	説明 みんなは旅行代理店の人。旅行のパックを企画します。 テーマは「人を happy にする旅」。略して「スマイルパック」 <u>スマイルあふれるパック</u> をつくります！	パワーポイントで導入。 自分がつくった例を見せる。
20分	旅づくり ・写真を各班（1班6人）に配る。全部で6グループ。 1班写真は12枚。 ・2泊3日の旅を考える。日程は1日目午後、2日目午前、午後、3日目午前の4枚の日程表（資料B）に写真をそれぞれ選び、その場面のスマイルポイントを決める。 ・全行程の中から自分たちの一番の<u>スマイルポイントを1箇所</u>決める。他の班には内緒。	各班に写真（資料A）、日程表（資料B）、旅のテーマの紙（資料C）、を配布。
10分	旅に出る ・一人6枚程度シールを配布。 ・2グループでスケジュールを見合う。そのスケジュール表と写真をみて、<u>「スマイル」と感じたところにシールを貼る。</u>	シール配布
5分	旅の振り返り ・自分たちのグループの日程表を見て、シールの位置を確認する。自分たちがもともと決めていたスマイルポイントと他の人が貼ってくれたスマイルシールの数や場所などを見る。	
5分	気づき、感想 ・何人かに気づいたことを発表してもらう。 ・感想を記入。	感想記入用紙

5. 生徒の感想

- ・自分たちの班で選んだ場所とまったく同じ場所を選んでいたのでおどろきました。同じ場所でも、「スマイルポイント」がちがっていておもしろいと思いました。
- ・旅は楽しむのが大事だと思いました。
- ・同じ写真をつかっているのに、班ごとに紹介の仕方が全く異なっていておもしろかった。写真を見るだけでその写真の事を紹介するのは難しかったけど楽しかった。
- ・他の人に楽しんでもらう事を計画するチャンスはあまりないので、貴重な体験になった。また、どういうことをすれば楽しんでもらえるか、HAPPYになれるかを考えられたので、これから活かせると思った。
- ・とても楽しかったです。最初、12枚の中から写真を4枚選ぶのは、少し迷いましたが、皆で意見を出し合えてよかったと思います。次に、文章も考えるのが少し難しかったです。しかし、班の中で意見を出し合って、時間内に決められたのでよかったと思います。他の班を見て、写真は同じでも内容が違うし、「確かにこういうのもある」など感じました。この活動を通じて、班の人と協力してやれてよかったです。
- ・企画してみてもすごい楽しかった。オススメポイントにあまりシールがはってなかったのが意外だった。
- ・すごく楽しかったです。企画している自分も「行ってみたい」と思いました。
- ・やっぱり細かい事まで考えるのは難しいと思いました。他の班もプランは同じだけど、順番がちがいで、考えもちがうと改めて思いました。この授業は、班での協力が必要だと思い、協力できてよかったと思います。
- ・写真を選んでどんな内容にするか楽しい企画になるように考えるのがとても楽しかったです。本当に旅行会社の人になったような気分でした。シールが集まって嬉しかったです。
- ・とっても楽しい授業でした。どの班もスマイルポイントにこっててよかったです。他の班と同じ写真を選んでも、またちがうことを紹介している班もあり、色々な面から楽しめるスマイルパックでした。またやりたいです！
- ・いつかそういうような旅をしてみようかなと思いました。ぼくはホンコン旅行に行ったことがあり、様々な観光名所に行ったことを思い出しました。家族と行ったので、今度は一人で歩き渡りたいなといっそう思いました。
- ・今日、4班と6班の旅を体験して、2班ともすごく楽しそう、面白そうで自然と笑顔になれる旅ばかりだったので、楽しかったです。班で写真などを決めて、役割を決めてやったので、スムーズに完成出来ました。おすすめの所にシールが少ししかついてなくて、市場にいっぱいいついていたので、見たときはびっくりしてしまいました。
- ・スマイルパックの文章を考えるのがとっても難しかったです。文章で人を引き寄せるのは、難しいなと思いました。
- ・理由を考えるのが大変だった。もう少し時間がほしかった。
- ・今日の授業で自分たちで旅行を計画できてよかったです。同じツアーでも言葉でこっちのほうが楽しそう！など世界を周れた気分でした。私はずーっと日本にいたいと思っていましたが、他の世界もまわってみたいと思える授業でした。
- ・今までの英語の授業と違い、さまざまな価値観があることなどを考えるきっかけとなり、新鮮で楽しかったです。外国の人と接するときも、こうした価値観のちがいを意識すると接しやすいのかなと思います。
- ・今日、この授業をやって、班の皆が笑顔でスマイルパックを作れました。人によって笑顔になれる旅はちがうし、好きなものもきらいなものもちがうことによって楽しさがちがうし、皆でやることによって笑顔が生まれると思いました。これからの人生はもっともっと楽しんで皆で笑顔で活動していきたいと思いました。
- ・人によって違う価値観をもっていて面白かった。34人いてもこんなに違うんだから、世界の人を見てみれば、もっと違うのかな？もっといろんなところに旅をして、世界の人々の価値観を知って学んでいきたいです。

6. 授業を終えて

* 旅を企画 *

- ・みんなとても楽しそうに取り組んでいた。生徒は発想が豊かで、1枚の写真からいろいろな旅のポイントを考えていた。
- ・課題としては、時間が短いこと。そして、文で表現する難しさ。文章力が問われてしまう、と少し感じられた。あまり、文章を書く力がなくても上手く表現する方法を今後考えていきたい。

* 旅に出る *

- ・他の班の企画を見て、シールを貼るという作業はとても楽しかったようである。自分たちが選ばなかった写真が選ばれていたり、同じ写真でも説明が異なっていたことに面白さを感じていた。
- ・「じっくり旅をする」とはならなかった。シールを貼って満足するというような感じもあったので、もう少し時間があれば、他の班が考えた旅について、話し合ったりする時間がとれるとより有意義になると感じた。

* 振り返り *

- ・やはり45分だと時間が足りない。旅を企画し、旅に出るのが精一杯。お互い旅した班に対して、感想を言い合えたら、旅を企画した充実感をより得られたと思う。時間があまったクラスは数名、感想を述べてもらったが、ほとんどのクラスでは時間が足りず、感想を記入したのみ。
- ・振り返りの時間がなかったことで、本来は引き出さなくてはいけない感想を自分がまとめて言ってしまう、その点が心残り。

* 全体を振り返って *

- ・準備の段階では、写真選びにとっても迷った。景色とか有名どころではなく、なるべく人が入っている写真にした。国や場所も限定しなかった。また、一見、悲観的な写真は意図的に選ばなかった。また、時間が45分と限られていたので、写真は状況がわかるようにしておいた。
- ・とても楽しみながら取り組める内容だと思う。普段、話し合いなどで意見がなかなか言えない生徒でも楽しそうに旅づくりに参加していた。シールを貼るという作業も面白かったようである。中学1年生なので、班によって作業スピードに差が出た。あまり長いと待っているほうは間延びしてしまうが、短いと旅がなかなか出来上がらず、時間配分が難しい。45分では少ないが2時間は必要ない。70分あれば、中学1年生でも感想など気づいたことを発表できると思う。
- ・誰でも参加ができて、楽しみながらできるので、やり方を少し変えながら、いろいろな人を対象にできると感じた。ただ「楽しい」だけで終わらないように気をつけなくてはならない。